

# れんごう中越地協

第831号 2014. 8. 21  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定価 1部10円  
購読料は会費に含まれる



## 連合中越第22回親善囲碁将棋大会開催

### 33名の棋士が熱戦を繰り広げる

優勝は、囲碁の部・齋藤さん、将棋の部・若林さん

連合中越第22回親善囲碁将棋大会が、7月27日(日)に長岡市栃尾文化センターで開催された。大会は、棋士33名が熱戦を繰り広げ、上位者には賞品、参加者全員に栃尾名物の「ジャンボあぶらげ」が渡された。

第22回親善囲碁・将棋の部に12名が集った。



司会進行は、坂井元栃尾支部長がつとめ、主催者を代表して羽賀連合中越副議長(教宣文化担当)から「日頃の成果を十分発揮して楽しんでほしい」等と激励の挨拶を述べた。続いて、各部に分かれた審査委員長からルールの説明があり、対戦表が出来上がると早速第一局が開始となった。部屋のそここで「パチッ。パチッ」と盤を打つ音が何とも出せない雰囲気をもし出していった。



対局は一局約50分程のルールだ。15分程で勝負がつく人も入っていた。最初に総会が行われ、経過の確認と、運動に拡大に向けた次年度方針が決定された。その後、講演会をメインとした県民大会が開催された。講師には、元択捉島民の三上洋一氏から「北方領土の早期返還を求めて(元島民の声)」と題して講演が行われ、終戦後にソビエト軍に不法に本拠された経過や北海道の北部にソ連軍の侵攻を



れば、制限タイムまでもつれ、審判長の判定が下る対局もあった。結果は、次のとおりとなった。(敬称略)

## 北方領土返還要求運動 新潟県民会議総会 県民大会に参加

北方領土返還要求運動新潟県民会議の総会と県民大会が7月12日、新潟市の東急インで開催された。最初に総会が行われ、経過の確認と、運動に拡大に向けた次年度方針が決定された。その後、講演会をメインとした県民大会が開催された。講師には、元択捉島民の三上洋一氏から「北方領土の早期返還を求めて(元島民の声)」と題して講演が行われ、終戦後にソビエト軍に不法に本拠された経過や北海道の北部にソ連軍の侵攻を



米軍が止めるなど戦後の混乱のなかで島民の犠牲と苦労は大変なものだったこと。また、占領されるまでは、新潟県の村上の技術が持ち込まれサケ漁を中心に漁業・養殖・加工が盛んだったこと、そして、現在はビザなし外交を通して領土問題を意識したなかで四島在住のロシアの人たちと交流が進んでいる現状なども紹介された。四島から避難した約14000人が現在約6000人となっていることから四島の早期返還を強く訴えた。最後に領土問題の早期解決に向けて今年度も活動を行うことを確認した。

第1位	齋藤 敏一
第2位	石附 整
第3位	齋藤 幸英
特別賞	遠藤 利光
同	阿部 稔
同	長谷川 孝明
将棋の部	
第1位	若林 悟
第2位	青山 研介
第3位	中田 静悟
特別賞	宮島 豊
同	小林 敏弥

閉会式では、各審判長から賞品が手渡され、健闘をたたえ合った。また、今井幹事から「来年もぜひお仲間を誘ってきてください」と閉会あいさつが述べられ大会を終了した。参加者には栃尾名物ジャンボあぶらげが配られた。

普段が座りっぱなしのデスクワークのため、健康維持と運動不足解消にと5年くらい前から、早朝4時〜5時に起床し、4〜6kmを約1時間かけて歩いたり、走ったりしている▼住んでいるのが川西、陸上競技場の近く緑町なので、まづ土手が上がって右に行ったり、左に行ったり、その日の気分や天気によって色々なコースを歩いている。右手の南に向かい長生橋を渡り右岸を進んで大手大橋を戻ってくる約4kmコース、左手の北に進んでひたすら直進し長岡大橋で戻ってくる約5kmコース、南にひたすら進んでフェニックス大橋でターンをすする約6kmコースをメインに土手の上や下、街中なども歩き、今までの最長記録は蔵王橋でのターン約8kmコースになる▼6、7月は日が長いので4時から歩けるが、8月以降は日々、日

盛んだったこと、そして、現在はビザなし外交を通して領土問題を意識したなかで四島在住のロシアの人たちと交流が進んでいる現状なども紹介された。四島から避難した約14000人が現在約6000人となっていることから四島の早期返還を強く訴えた。最後に領土問題の早期解決に向けて今年度も活動を行うことを確認した。

最低賃金審議会状況と街宣行動等を決定  
連合新潟第4回地協代表者会議  
連合新潟第4回地協(協)・山田専務理事から労協協ビジョン策定委員会最終報告内容やワークライフフォーラム等の説明があった。ほかに、最低賃金審議会をめぐる状況と街宣行動等報告された。

東蔵王2  
《No.147》  
副議長 羽賀 実  
の出て遅くなり4時だと真っ暗で、新聞配達や牛乳配達の人に突然、出くわしてドッキリとさせられ「こんな真つ暗な時間から何やってるんだ、俺は!」と思っただけで何度もあった▼季節の変化に合わせ徐々に発時間を遅らせる時期になってきている。モットーとして、歩く速度はとにかく早く!を心がけており、ランニングしている人には抜かれても、歩いている人には抜かれたことがない。徒競走のようにはいかないが、大股でグイグイ歩くようにしている▼さすがに毎日やっている週末には疲れてしまうことがあり、昼ご飯を食べ終わるとウトウト、夕ご飯を食べるとウトウトしてくる。だから、疲れてきたなどと思ったら躊躇なく早起きをやる。無理のないようにしているのが続けられる秘訣のようである。

サラリーマン川柳(その一手 友といえども 待ったなし) (飲む前に 一錠飲んで 飲みかいし) (この時代 暑さ寒さは 彼岸過ぎ) (言い訳も 慣れ過ぎいつも そつがなく)